

目標達成

グループホーム用

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	会社としての理念はあるが、事業所独自の理念が共有されていない。	事業所湖北台ワカバとしての、理念を作りあげ職員一同、その理念を共有していくようにする。	ミーティング等で理念について話し合いその理念に向けて利用者、家族、関係者に事業所としての役目を理解してもらうようにしていく	3ヶ月
2	23(9)	利用者の思いや、暮らし方希望の把握ができていない。	利用者ひとりひとりの生活歴や環境をしり時間をかけ、もっと家族と話し合い情報収集しアセスメント用紙等を使用し職員にも情報の周知をする。	個人情報の取り組みにも注意して、入所時だけでなく、定期的にアセスメントしていく	6ヶ月
3	35(13)	災害対策について検討しなければならない事がある。	災害だけではなく、いろいろな場面、災害を想定し避難訓練をしていく	年2回の避難訓練ではなく、定期的に職員一同災害について話し合い、マニュアルの整備、より分かりやすく作成する。地域住民にも災害に対して協力を図りながら災害対策に努める	6ヶ月
4					
5					ヶ月

【外部評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所